



Title	若手研究者フォーラム要旨集 第7回 目次
Author(s)	
Citation	若手研究者フォーラム要旨集. 2023, 7
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/91170
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

第7回 若手研究者フォーラム

2023年3月24日（金）

会場：大阪大学豊中キャンパス A会場: 文法経本館2階 大会議室（オンライン併用）
B会場: 文法経講義棟 文41講義室

スケジュール・目次

10:30-10:35 開会の辞

A会場：10:35-12:15（発表15分+質疑応答5分）

研究発表①「ヴェーダ語の名詞mitrá-「同盟；同盟者；ミトラ神」を巡って
—ある述語構文の解釈を中心に—」
(都築みのり・インド学・仏教学・博士後期課程1年) 7

研究発表②「中国の医療現場における医療従事者に対する暴力」
(徐彬原・臨床哲学・博士後期課程1年) 11

研究発表③「フェリックス・ガタリの存在論と時間論—実践から理論へ—」
(濱田力稀・科学技術社会論・博士前期課程1年) 15

研究発表④「女性装者の実践を通したセクシュアリティの知覚—身体の使い方に着目して—」
(二宮晃紀・臨床哲学・博士前期課程1年) 19

研究発表⑤「培養肉へのパースペクティブ」
(岸川丈流・現代思想文化学・博士前期課程2年) 23

B会場：10:35-12:15（発表15分+質疑応答5分）

研究発表①「ニコライ・ゲー『真理とは何か』の受容に関する考察」
(平阪由貴・西洋美術史・博士前期課程1年) 27

研究発表②「ミア・ハンセン＝ラヴ初期長編三作品における家の表象」
(中村莉菜・アート・メディア論・博士前期課程1年) 31

研究発表③「ピピロッティ・リストの表現に関する一考察
—エクリチュール・フェミニンとの類似性を中心に—」
(柴尾万葉・西洋美術史・博士前期課程2年) 35

研究発表④「円山四条派の〈海上群仙図〉について」
(杉ノ原朋加・日本東洋美術史・博士前期課程1年) 39

研究発表⑤「近世武家社会における名物茶碗とその「写し」 —徳川美術館蔵「三島茶碗 銘 藤袴」とその「写し」を例に—」 (原田直輝・日本東洋美術史・博士前期課程2年)	43
--	----

12:15-13:30 休憩

A会場：13:30-15:10（発表15分+質疑応答5分）

研究発表⑥「古代チベット（吐蕃）帝国の税役制度に関する考察 —中央アジア出土木簡資料からわかること—」 (尾崎昇・東洋史学・博士前期課程1年)	47
---	----

研究発表⑦「大衆消費財としての毛皮—中国河北・北京（北平）における羔皮（ラムスキン）・ 寒羊皮の生産・消費—」 (田先卉・東洋史学・博士前期課程1年)	51
---	----

研究発表⑧「オーストラリア先住民コミュニティにおけるアボリジナル・アートセンターの意義 —Darwin Aboriginal Art Fair に着目して—」 (杉山暁子・西洋史学・博士前期課程1年)	55
--	----

研究発表⑨「言語使用実態から読み解く社会現象—“褒美”を例に—」 (宮本華瑠・基盤日本語学・博士後期課程3年)	59
--	----

研究発表⑩「1970年代再考—第6次『思想の科学』を手がかりとして—」 (西谷元気・現代日本学・博士前期課程1年)	63
--	----

B会場：13:30-14:50（発表15分+質疑応答5分）

研究発表⑥「坂口安吾「地方文化の確立について」論 —『月刊にひがた』一九四六年三月号という＜磁場＞に注目して—」 (田中聰一・日本文学・日本語史学・博士前期課程1年)	67
---	----

研究発表⑦「志賀重昂『日本風景論』における剽窃と引用 —国粹主義と西洋を志向する近代化の葛藤—」 (山田志歩・テクスト環境論・博士前期課程1年)	71
--	----

研究発表⑧「伊丹椿園『女水滸伝』における「侠」—前期読本と比較して—」 (加藤のん・日本文学・日本語史学・博士前期課程1年)	75
---	----

研究発表⑨「ドーノワ夫人の*Serpentin vert* 「緑色の蛇」における好奇心
—読書する女性に対する偏見への抵抗—
(中島姫奈・フランス文学・博士後期課程1年)…………… 79

15:10-15:35 休憩（審査）

15:35-15:50 授賞式・閉会の辞（於：大会議室）